

JDS Network News

発行元：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）



表紙：セネガル ダカール駅

Topics

20カ国から308名の若手行政官が来日しました

- ◆ 活躍する帰国留学生（カンボジア）
- ◆ JDS留学生が狛江高校で国際理解講座を行いました
- ◆ ほっとひと息：セネガル

20カ国から308名の若手行政官が 来日しました



来日レセプションに参加する各国の留学生たち

2024年度は、新たにウクライナがJDSに加わり、20カ国から308名(※)の若手行政官がJDS留学生(修士／博士)として8月に来日しました。昨年に続き8月からの一斉来日が叶い、合同の研修では国籍を超えた交流の機会となり、賑やかな光景が見られました。来日後のプログラムでは、各国の大使館表敬訪問や本所・池袋の防災館見学、リーダーシップや異文化コミュニケーションに関する講義等を実施しました。※9月末までに合計315名の来日を予定。

8月28日、JICA主催でJDS留学生とJDS関係者が参加するウェルカムレセプションが開催され、外務省、各国大使館、大学から多くの方にご参加いただくことができました。



JICA田中理事長 開会の挨拶

JDS留学生たちは、これから始まる日本での留学をきっかけに、各国の開発課題解決に貢献する知識や経験を得ると共に有益なネットワークを構築すること、そして帰国後には母国への貢献と二国間関係強化に資する人材としての活躍が期待されています。



Huot Synead(フオット・シニエ氏)

横浜国立大学大学院国際社会科学研究科、2008年修了、カンボジア王国
労働職業訓練省長官

2023年10月、JDSカンボジアの帰国留学生フオット・シニエ氏が、労働職業訓練省長官に任命されました。フオット氏はJDSカンボジアの5期生として2005年に来日し、2008年に横浜国立大学大学院国際社会科学研究科の修士課程を修了しました。



JDS留学後、内務省に戻ったフオット氏は、地方開発を担当する副局長に昇進し、地方開発政策の策定への貢献や、地方の政府機関における政策の実施状況の指導・監督を行いました。2022年には公務員省の長官と行政改革委員会の事務局長を歴任後、昨年2023年10月に労働職業訓練省長官に任命されました。現在は労働職業訓練省長官として、省における政務とデジタル化の推進、大臣の補佐等の重責を担っています。

フオット氏から、JDS留学のメリットについてコメントを頂きました。

日本留学で得た知識や技術、学位は、私のキャリア形成や昇進に役立っています。大学で学んだ法律や政策立案に関する知識及び世界のベストプラクティスで得た知識は、政務における自身の仕事の幅を広げてくれました。

フオット氏がJDS留学で得た知識と経験を活かし、カンボジアの発展にさらに貢献することが期待されています。

JDS留学生が狛江高校で国際理解講座を行いました

2024年7月11日、関東圏内の明治大学や慶応大学、筑波大学等に留学しているJDS留学生8名が東京都の狛江高校を訪問し、国際理解講座を行いました。留学生たちはそれぞれ準備した写真や資料を使い、母国の言語、人口を含む一般事情と、日本との文化・習慣の違いや類似点等を紹介しました。伝統衣装を着用して参加した留学生もあり、高校生たちは初めて見聞きする各国の文化の特徴や日本との違いに驚いた様子でした。

質疑応答の時間では、高校生たちは英語で質問を試みたり、留学生たちに日本語を教えたりと、活発に交流する機会となりました。留学生たちにとって日本の高校を訪問する機会は非常に貴重で、「自分の国の説明に対する高校生たちの素直な反応に感動した」との感想が寄せられただけでなく、教育分野の研究を行っている留学生にとっては、日本の教育現場に触れる機会となりました。



お手製の歓迎プレートの前で記念撮影をする留学生たち



セネガルは、西アフリカのサハラ砂漠西南端に位置する国です。首都はダカルで、かつてのパリ・ダカル・ラリーの終着点として知られています。今回はセネガルから、おすすめのおやつをご紹介します。



【Beignet (ベニエ)】

フランスの植民地であったセネガルではフランスの食文化が色濃く残っており、ベニエがその一つと言えます。「ベニエ」とは、フランス語で「揚げた生地」を意味します。セネガルのベニエは、沖縄の揚げ菓子「サーターアンダギー」に似たドーナツが一般的です。普段のおやつ時に食されるだけでなく、誕生日や婚礼の際にも配られます。オレンジ風味やココナッツ、粉砂糖をまぶしたものもあります。

【Fataya (ファタヤ)】

小麦粉でできた生地に玉ねぎ、ツナやひき肉を炒めて中に入れて揚げた揚げ餃子のような軽食です。炒めた玉ねぎソースや唐辛子の一種であるハバネロのソースをつけるのが一般的な食べ方で、夕方になると道端にお店が出て売られる、ストリートフードの一つです。



出典: [African Food Network](#)



【Ataya (アタヤ)】

元はモロッコやモーリタニアから伝えられてきたと言われている食後のミントティーです。中国茶を濃く煮出し、たっぷりの砂糖とミントを入れて、写真のように泡立てて飲みます。

JDS 3つの特徴

1

行政官限定事業

※一部例外がございます

2

6,345名 23カ国の実績

※事業終了国の人数も含む ※2024年度までの人数

3

大臣・局長級を輩出

対応国の社会・経済開発計画の立案・実施に関わる若手行政官が日本で修士号または博士号を取得しています

出身省庁…財務・経済、法務、行政、環境、インフラ、教育等

<JDS実施国 (JICE)> ※受入開始年順

ウズベキスタン、ラオス、カンボジア、ベトナム、モンゴル、
バングラデシュ、ミャンマー、フィリピン、キルギス、
タジキスタン、スリランカ、東ティモール、パキスタン、ブータン、
モルディブ、ケニア、セネガル、ウクライナ

※中国は2012年、インドネシアは2006年に事業終了しました。

日本で専門知識を身に付け帰国した留学生は、
日本との政策対話に携わり二国間強化に寄与する等、
様々な場面で活躍しています。

人材育成奨学計画 (JDS) は無償資金協力による
JICA留学生受入支援事業です。

編集後記

JDS Network News (JNN) をお読みいただき、ありがとうございます。

昨年2023年の夏より、募集と選考を経て選ばれた各国の優秀な若手行政官たちが、JDS留学生としてついに来日しました。300名を超える留学生の来日は、JDS関係者にとっては感慨深いものがあります。

特に今年は、新たにJDSに加わったウクライナからも留学生が来日しました。ウクライナでは2022年8月からJDSの導入を検討する調査が行われ、2024年8月に留学生を受入れることが叶いました。ご本人たちだけでなく、事業関係者の喜びもひとしおかと思います。

JDS事業に関するご質問がございましたら、お気軽にメールで弊センターまでお問合せください。また、本誌へのご意見・ご感想もお待ちしております。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本国際協力センター (JICE)
留学生事業第一部留学生事業課広報担当
E-MAIL: jds.pr@jice.org